



未来へつなぐ八戸国体

銀盤に君の軌跡よ花ひらけ



FUKUOKA NEWS 2023



福岡県選手団ニュース R5. 01.30 Vol.3

特別国民体育大会冬季大会 未来へつなぐ八戸国体 大会3日目

1月30日(月) FLAT HACHINOHE (八戸市) でフィギュアスケートの成年男子フリースケーティング (FS)、成年女子ショートプログラム (SP) が行われた。

フィギュアスケート・成年男子FSで古家選手が会場が一体となる演技を披露!!

大会2日目のSPの結果により、古家龍磨選手(九州工業大学)がFSの演技を行った。古家選手は軽快なステップを披露し、会場から手拍子が起こる素晴らしい演技だった。立神杏士郎選手(北九州市立大学)は、国体初出場で団体戦の重圧もあったが、華麗な演技で奮闘した。「TEAM 福岡」の一員として次の国体に期待したい!

成年男子の都道府県別成績は以下の通り。

【成年男子】

都道府県別成績 11位

古家 龍磨(九州工業大学)

SP23位 FS18位 総合順位19位

立神 杏士郎(北九州市立大学)

SP25位 FSなし 総合順位25位



古家選手



石原監督と立神選手

古家選手のコメント

ショートは自分の思う演技ができず、すごく悔しくて寝られなかった。フリーは気持ちだけで乗り切ったが、自分でもいい演技ができたと思う。また、リンクに入る時にみんなとハイタッチして入場した。多くの方々の声援で頑張ろうという気持ちになった。疲れた場面で応援してくれる人の声が聞こえ、エネルギーが出てきた。

立神選手のコメント

初めての国体という緊張よりも、団体戦であるということに緊張した。練習中に出来ていたことを、本番でミスしてしまい、自分らしい演技ができなかったのが悔しい。来年もまたこの舞台に必ず戻って頑張りたい。

フィギュアスケート、成年女子SP始まる! 都道府県別成績4位と好発進!

世界女王の坂本花織とグランプリファイナル覇者の三原舞依のペアが兵庫県から出場するなど、非常にレベルの高い大会となった。中でも、本県代表の竹野比奈(パピオFSC)・江川マリア(明治大学)が善戦した。

竹野選手は得意のレイバックスピンと美しいスケートスキルの高さが光った。江川選手は、迫力のあるジャンプと音楽に合ったステップが魅力的だった。

大会4日目のFSにも期待ができる。成年女子SPの成績は以下の通り。

【成年女子SP】

都道府県別成績 4位(竹野選手 SP10位 江川選手 SP9位)



竹野選手の演技



江川選手の演技

